



SGHDX

SG Holdings Group's Digital Transformation Strategy

SGホールディングスグループ DX戦略

INTRODUCTION

物流業界における **DX戦略** の重要性

日本国内における少子・高齢化に伴う急速な労働人口減少により、物流業界でも、EC市場における流通量の伸長等による物流の維持に必要な人材の確保が年々難しくなっています。SGホールディングスグループでは、物流という社会インフラを安定的に供給し続けるため、テクノロジーの活用による自動化・省力化を推進しています。

今後も、オープン系のグループ共通IT基盤をベースに、同業他社やスタートアップ企業を含めた異業種との連携、IoT・AI・ロボティクス等のテクノロジーを活用することでさらなるDXを推進し、トータルロジスティクスをさらに進化させていくことで、常にお客さまにとって最適なソリューションを提供してまいります。

CONTENTS

成長戦略=DX戦略	03
DX戦略	04
DX施策の全体像	05
デジタル基盤の進化	06
[事例] デジタル基盤による価値	07
業務の効率化	08
サービスの強化	09
DXの推進体制	10
DX戦略のロードマップ	11

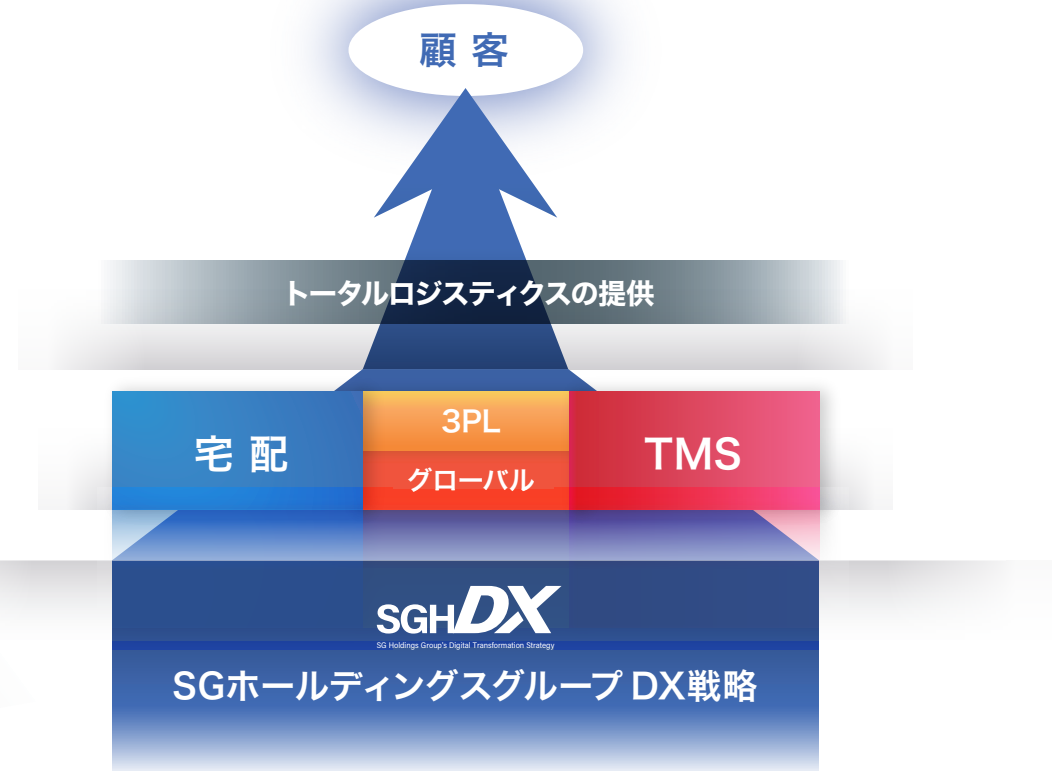
成長戦略 = DX戦略

SGホールディングスグループは物流業界全体をターゲット領域とし、トータルロジスティクスの機能強化を通じて、お客さまの競争優位性を高めるソリューションを提供しています。この独自のビジネスモデルを持続的に成長させるため、私たちは「DX」を重要な戦略の1つとして位置付けています。

物流業界全体がターゲット



トータルロジスティクスの機能強化



出所 日本物流団体連合会「数字でみる物流2019」、株式会社矢野経済研究所「物流市場の現状と将来展望2019年版」
 ※ 物流業界全体：数字でみる物流2019より、2017年度物流業界(トラック運送事業、JR貨物、内航海運業、外航海運業、港湾運送業、航空貨物運送事業、鉄道利用運送事業、外航利用運送事業、航空利用運送事業、倉庫業、トラックターミナル業)営業収入合計値
 ※ トラック運送事業：数字でみる物流2019より、2017年度トラック事業の営業収入合計値 ※ 宅配事業：物流市場の現状と将来展望2019年版

DX戦略

SGホールディングスグループのDX戦略は、社会・顧客の課題解決を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを、目的として掲げています。目的達成のため、「デジタル基盤の進化」「業務の効率化」「サービスの強化」の3つの施策に取り組んでいきます。



DX施策の全体像

前述の通り、DX施策は相互に連携し合う「デジタル基盤の進化」「業務の効率化」「サービスの強化」の3つの施策から成り立っています。

それぞれにおいて、顧客や開発パートナーなど多様なステークホルダーとの連携によるオープンイノベーションを積極的に行い、取り組みを加速・発展させていきます。

SGホールディングスグループのDX施策全体像



デジタル基盤の進化

「デジタル基盤の進化」では、これまでに実現してきたレガシーシステムの脱却や開発・保守の内製化をベースに、アジャイル開発、先進技術活用、DX投資へのさらなる拡大によりDXを加速させます。



レガシー脱却・内製化に続き、更なる投資でDXを加速

ヒト

開発・保守の内製化



アジャイル開発の更なる加速



モノ・データ

レガシーシステムからの脱却



先端技術の更なる活用

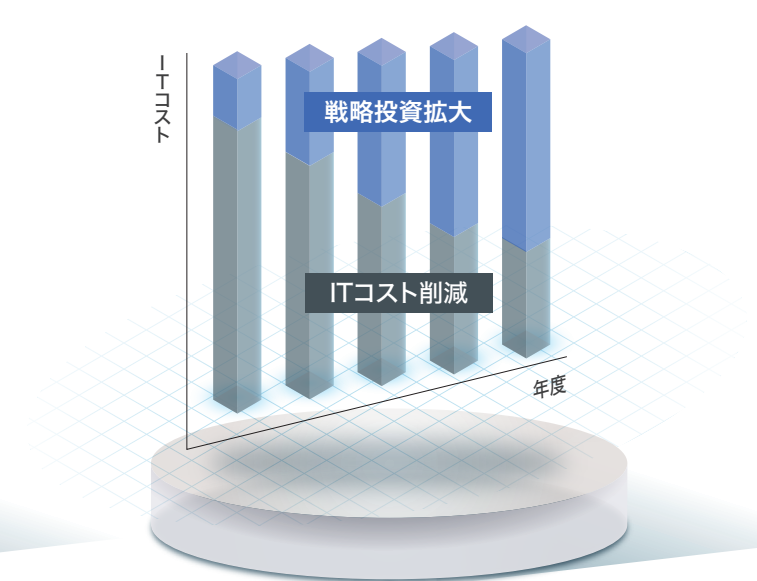


カネ

ITコストの継続的な削減



DX投資の更なる拡大

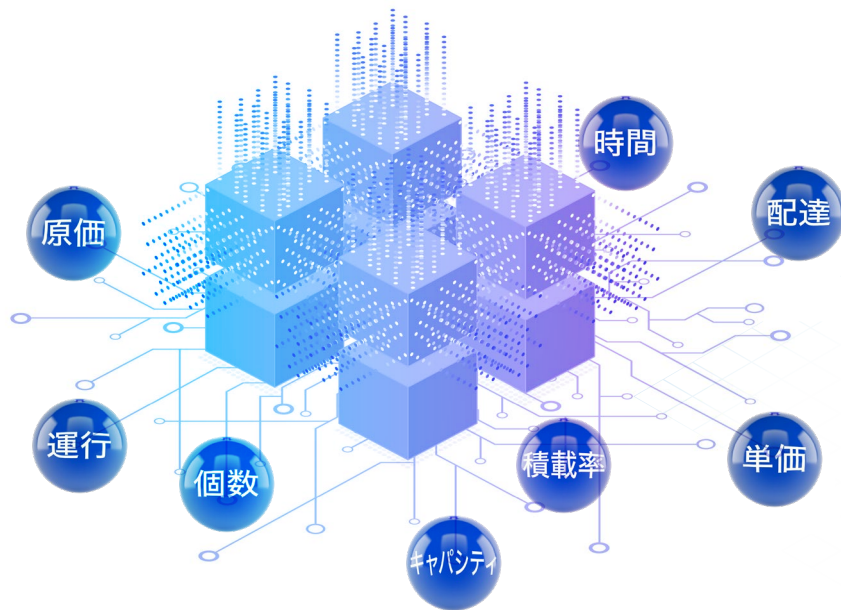


〈事例〉デジタル基盤による価値

当社グループは、ITにより単価・個数・原価・品質・キャパシティなど主要KPIを可視化しています。これにより、荷物一つ一つの採算管理が可能となります。可視化された荷物の採算性に基づき、適正運賃収受の取り組みを継続することで安定的な事業成長を実現しています。

データドリブン経営の実現と効果

グループ共通プラットフォーム (ビッグデータ)



業務の効率化

「業務の効率化」では、佐川急便のセールスドライバー®(SD)を始め、当社グループの根幹を担う物流業務や、それを支えるバックヤード業務について、DXによる効率化を図ります。これまで以上に物流関連業務の生産性を向上させます。



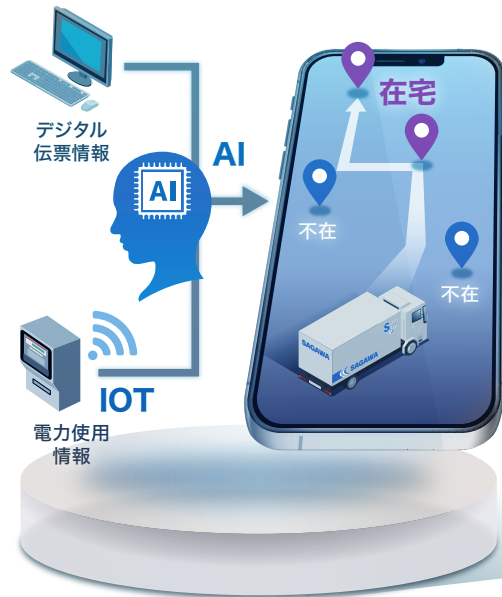
他社との協業や先端技術の活用による生産性向上

ドライバー業務

データとアルゴリズムを持つ企業と連携



SD・宅配パートナーの生産性向上

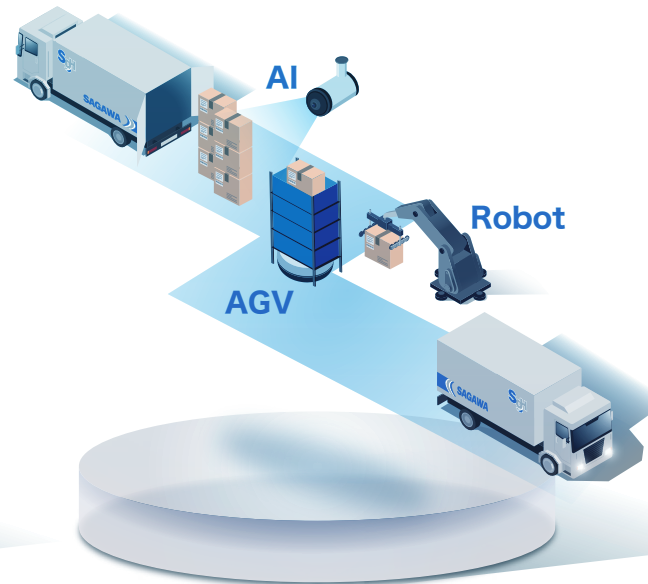


庫内業務

ベンチャー等とのR&D連携を強化



先端技術の更なる有効活用



オフィス業務

自社開発したAI-OCR等の活用



バックヤード業務の更なる効率化



サービスの強化

「サービスの強化」では、当社グループだけでなく顧客・同業他社との連携を深め、物流の“プラットフォーム”サービスを拡充し、物流課題の解決を図ります。トータルロジスティクスとして提供している「TMS・GOAL[®]・グローバル」の3本柱について、それぞれに最適なプラットフォームを構築することでサービスの強化を実現します。



顧客・同業連携によるプラットフォームサービスの拡充

TMS

荷主・配送協力会社とデータ連携



荷物と車のマッチングサービス
を提供

TMSプラットフォーム



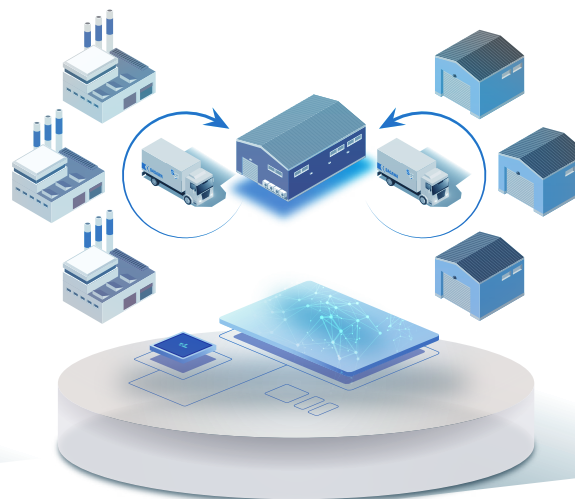
GOAL[®]

産業内での倉庫・配送力データ連携



企業横断で物流の
最適解を提供

GOAL[®]プラットフォーム



グローバル

越境ECに関わる企業とのAPI連携



グローバル一貫サービス
を提供

グローバルプラットフォーム

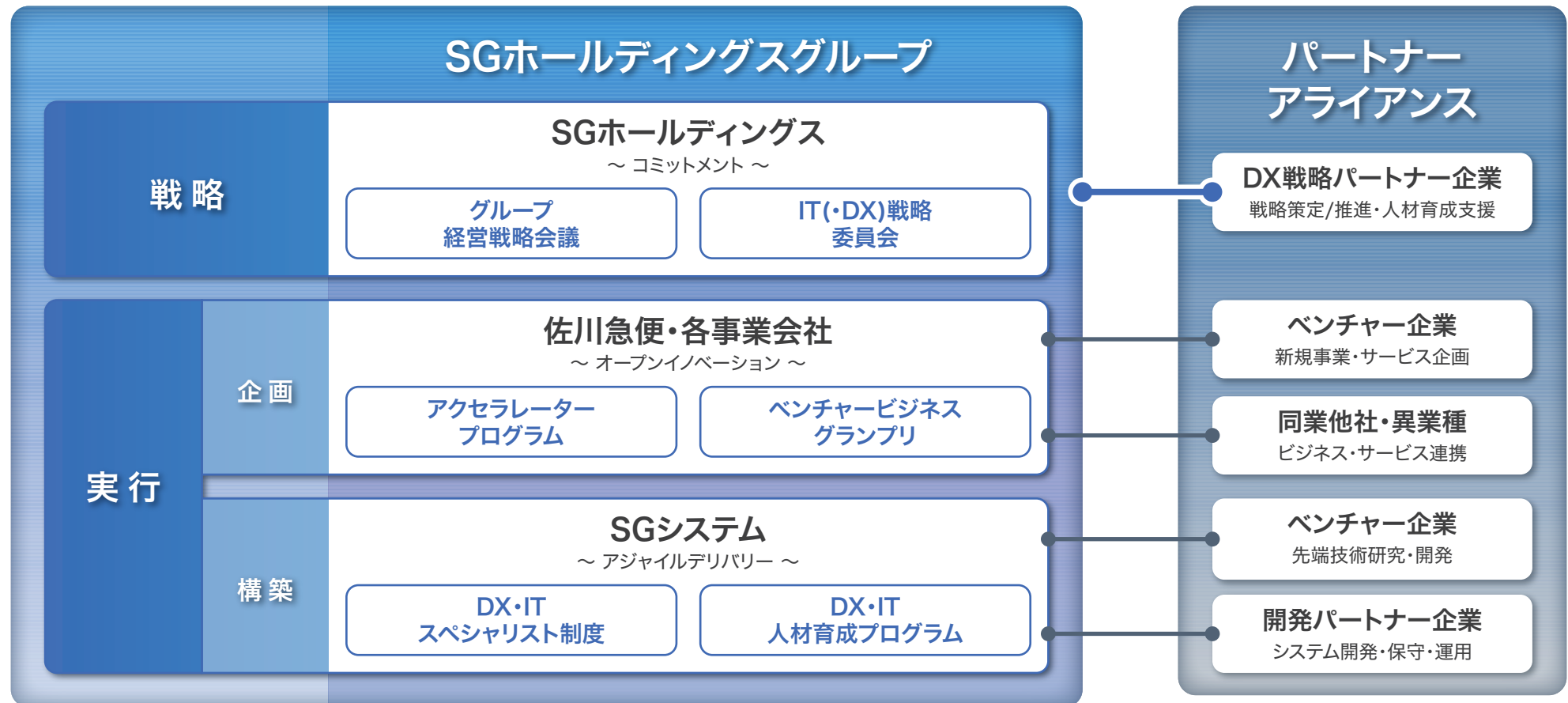


DXの推進体制

戦略策定を担うSGホールディングスを筆頭に、佐川急便を始め、各々に得意領域を持つ各事業会社が連携し、DX戦略を推進します。

構築は、物流×ITの分野で長年の実績を持つSGシステムが担当。また、戦略・実行の両面で、多種多様なパートナーとのアライアンスを積極的に展開します。

SGホールディングスグループのDX推進体制



DX戦略のロードマップ

SGホールディングスグループでは、経済産業省が2018年に指摘した「2025年の崖」をすでに克服し、ビジネスの高度化・創出・変革に取り組んでおります。今後は、DX戦略の更なる推進により社会課題解決にも取り組んでまいります。

